

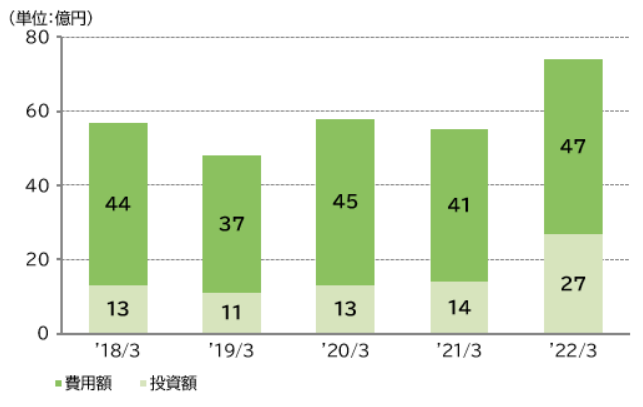
2022 年 3 月期 環境データ

ミネベアミツミグループの環境会計

当社グループは、環境保全対策へのコストを認識するため、環境省が発行する「環境会計ガイドライン 2005 年版」を参考に、環境会計の集計を行っています。

当社グループの 2022 年 3 月期の環境保全コストの総額は 74 億円となり、前年度比で 34.5%増加しました。その内の投資額は、タイの工場において排水処理施設を新たに導入したり、大幅改善を行ったため、前期と比較して 2 倍近く増額しました。

2018年3月期から2022年3月期の環境保全コストの推移



2022 年 3 月期の環境保全コスト集計表

環境保全コスト				(単位:百万円)	
分類		主な取り組み内容	投資額合計	対象範囲合計	
				投資額合計	費用額合計
1	生産・サービス活動により事業エリア内に生じる環境負荷を抑制するための環境保全コスト	内訳(1)、(2)、(3)の通り	2,712	3,936	
	(事業内エリアコスト)				
	(1) 公害防止コスト	水質汚濁防止、大気汚染防止など公害防止のための設備の設置、設備償却及び運転・維持管理費用など	1,776	1,032	
	(2) 地球環境保全コスト	オゾン層破壊物質を使用しない洗浄装置の設置、高効率タイプ冷凍機の設置、減価償却及び運転・維持管理費用など	823	2,096	
	(3) 資源循環コスト	廃棄物処理及びリサイクルのための設備及び費用など	113	808	
2	生産・サービス活動に伴って上流または下流で生じる環境負荷を抑制するためのコスト	グリーン調達に伴う分析装置の設置及び材料分析費用。納入者との契約に関わる印刷・収入印紙代など	1	169	
	(上下流コスト)				
3	管理活動における環境保全コスト(管理活動コスト)	環境マネジメント組織の件数及び環境マネジメントシステムの維持管理費用など	35	600	
4	研究開発活動における環境保全コスト(研究開発コスト)	水洗浄装置の研究開発費用など	0	28	
5	社会活動における環境保全コスト(社会活動コスト)	緑地、景観保持のための整備費用など	0	5	
6	環境損傷に対するコスト	土壌汚染を修復するための土壌入れ替え費用及び浄化装置の運転・維持管理・減価償却費など	0	5	
	(環境損傷コスト)				
合計			2,748	4,743	

円換算レート：
1USD=¥111.55 1EUR=¥130.47 1THB=¥3.44 1CNY=¥17.35
1SGD=¥82.81 1GBP=¥153.10 1MYR=¥26.78 1PHP=¥2.26

ミネベアミツミグループの環境負荷

当社グループは、世界 27 か国に 96 生産・研究開発拠点と 87 営業拠点を有し、主力のベアリングをはじめとする機械加工品、電子機器、半導体製品など、多様な製品を生産、販売しています。環境負荷を生産地別の売上構成比率に応じて按分すると、日本を除くアジア地域で約 74%の環境負荷を排出しています。

2022 年 3 月期の当社グループの環境負荷は以下のとおりです。

■ インプット・アウトプット (2022年3月期実績)



集計範囲：生産拠点、連結決算の対象

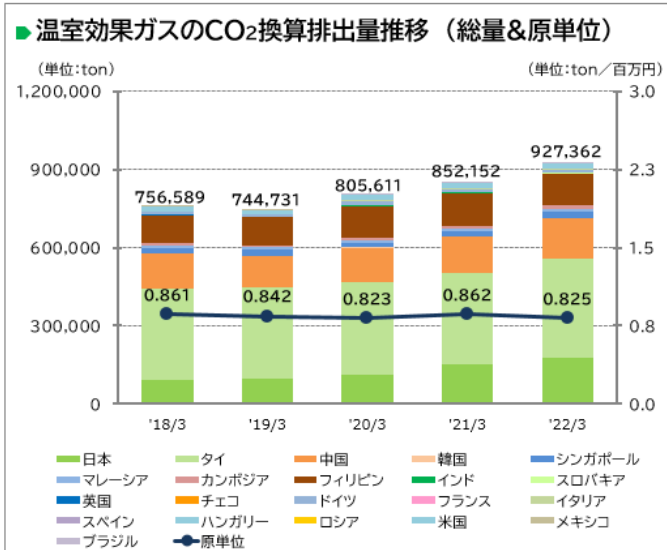
検証：第三者検証受審対象

- ※1 LPG：液化石油ガス
- ※2 PRTR届出物質：PRTR法（特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律/日本国内法）により届け出た化学物質
- ※3 廃棄物等：有価物および廃棄物
- ※4 COD：化学的酸素要求量。海域と湖沼の有機物の環境基準などに用いられる指標。
- ※5 BOD：生物化学的酸素要求量。河川の有機物の環境基準などに用いられる指標。
- ※6 SS：浮遊物質。水中に含まれる不溶性物質の環境基準などに用いられる水の濁り具合に関連する指標。
- ※7 GHG(CO₂換算)：地球温暖化係数を使用してCO₂(二酸化炭素)量に換算した温室効果ガス。CO₂に換算した温室効果ガスは、CH₄、HFC、PFC、SF₆、NF₃、N₂Oの6種類。
- ※8 NOx：窒素酸化物。光化学スモッグや酸性雨の原因物質。
- ※9 SOx：硫黄酸化物。ぜん息や酸性雨の原因物質。
- ※10 ばいじん：燃焼により発生する排出ガス中に含まれる粒子状物質。粒径が大きいものは視界不良、粒径が小さいものは呼吸器など健康への影響要因。

ミネベアミツミグループの温室効果ガス排出量

2022 年 3 月期の当社グループ全体の温室効果ガスの CO₂ 換算排出量は 927,362 トンで、前期と比較して 8.8%増加しました。電力の CO₂ 排出係数の低下に加え、生産効率の向上や高効率設備への更新などにより、売上高 13.7%増加に対して低い増加率となりました。

売上高原単位で CO₂ 換算排出量をとらえた場合は、0.825 トン/百万円となり、CO₂ 換算排出量の増加率が売上高の増加率を下回ったことから原単位は改善され、前期と比較して 4.3%減少しました。



サプライチェーン排出量（Scope1,2,3）

(単位: 千t-CO₂)

		'21/3	'22/3	検証
Scope1		79	107	●
Scope2 *		773	820	●
Scope3		2,739	3,198	●
カテゴリ1	購入した製品・サービス	2,259	2,559	●
カテゴリ2	資本財	137	221	●
カテゴリ3	Scope1,2に含まれない燃料、およびエネルギー関連活動	109	120	●
カテゴリ4	輸送、配送(上流)	171	235	●
カテゴリ5	事業から出る廃棄物	9	10	●
カテゴリ6	出張	11	11	●
カテゴリ7	雇用者の通勤	42	41	●
カテゴリ8	リース資産(上流)	—	—	
カテゴリ9	輸送、配送(下流)	—	—	
カテゴリ10	販売した製品の加工	—	—	
カテゴリ11	販売した製品の使用	—	—	
カテゴリ12	販売した製品の廃棄	—	—	
カテゴリ13	リース資産(下流)	—	—	
カテゴリ14	フランチャイズ	—	—	
カテゴリ15	投資	—	—	

*: ロケーション基準

●: 第三者検証受審対象

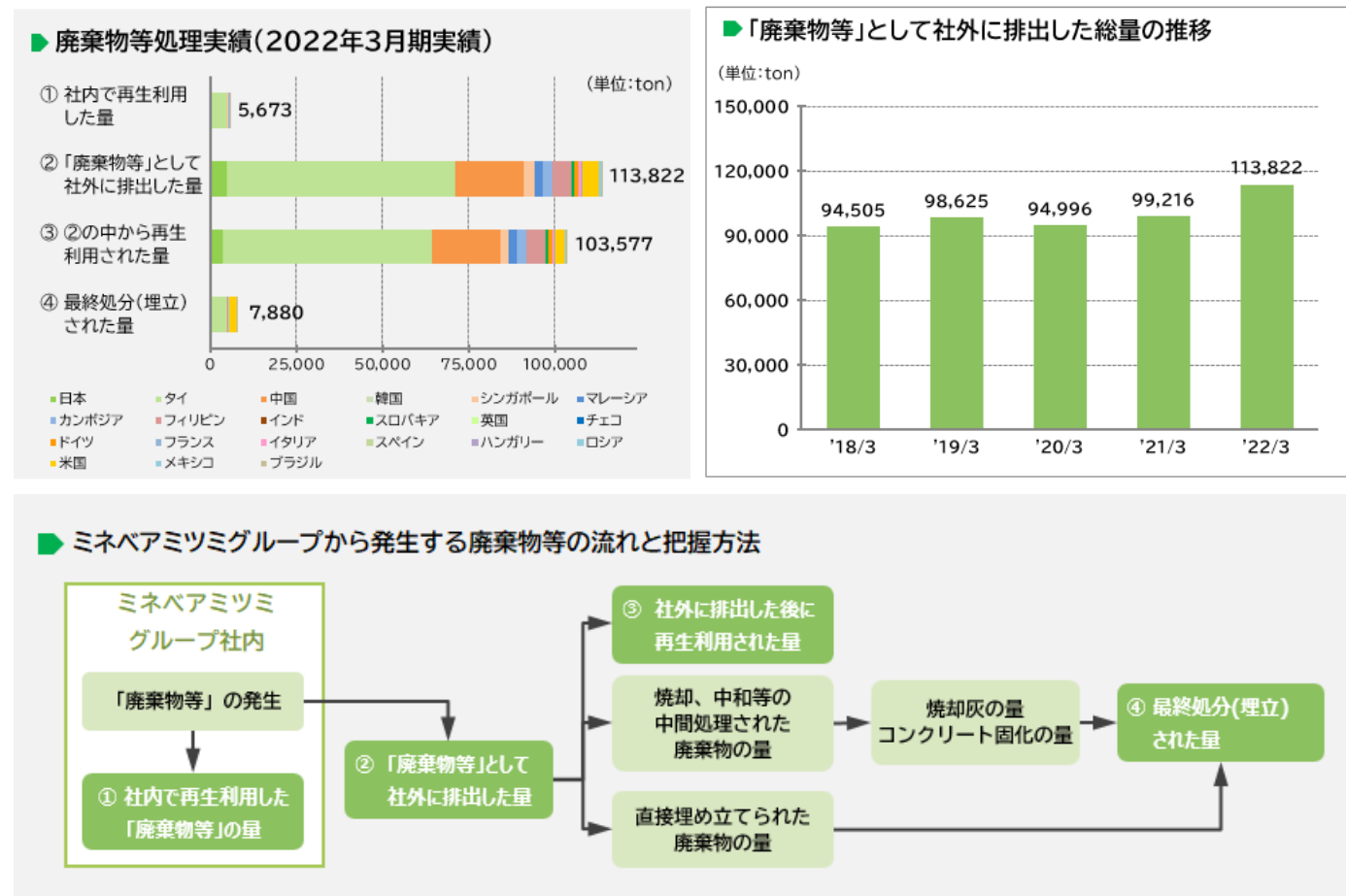
Scope3 各カテゴリの算出方法

カテゴリ1	購入価格に原単位を乗じて算出
カテゴリ2	購入した資本財の金額に原単位を乗じて算出
カテゴリ3	使用したエネルギー(燃料・電力)に種類別原単位を乗じて算出
カテゴリ4	輸送質量と距離の実績データ・燃料使用量に、原単位を乗じて算出
カテゴリ5	廃棄物を種類別に分類し、排出量に原単位を乗じて算出
カテゴリ6	従業員数に原単位を乗じて算出
カテゴリ7	勤務形態別・都市区分別の従業員の勤務日数に対し原単位を乗じて算出
カテゴリ8	対象外(当社では、本カテゴリに該当する排出は無い)
カテゴリ9	対象外(当社では、本カテゴリに該当する排出は無い)
カテゴリ10	対象外(当社は、中間製品の製造が主であり、顧客への納入後の加工が多岐にわたり、把握できないため)
カテゴリ11	対象外(当社の販売製品に占める完成品の販売は極めて少ないため)
カテゴリ12	対象外(当社は、中間製品の製造が主であり、どのような最終製品に組み込まれ、使用、廃棄されるか、把握できないため)
カテゴリ13	対象外(当社では、本カテゴリに該当する排出は無い)
カテゴリ14	対象外(当社では、本カテゴリに該当する排出は無い)
カテゴリ15	対象外(当社では、本カテゴリに該当する排出は無い)

ミネベアミツミグループの廃棄物等排出量

2022 年 3 月期に当社グループ全体で使用された主な原材料は、鋼材：約 128,916 トン、樹脂：約 21,937 トンで、売上高の増加に伴い、合計量は前期と比較して 24.2%増加しました。

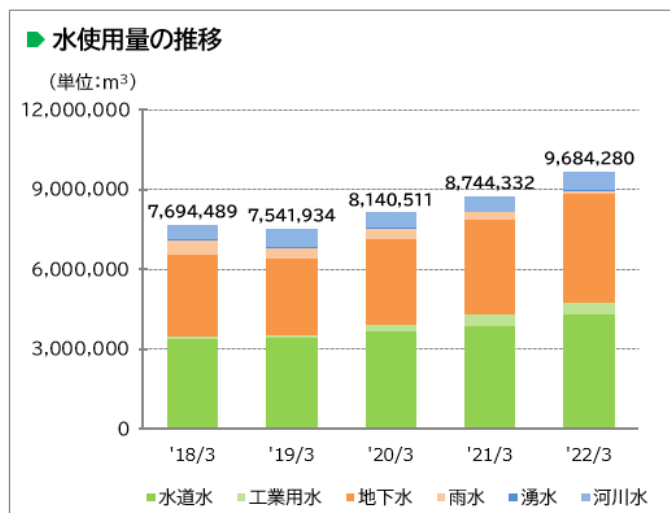
また、当社グループから「廃棄物等」として社外に排出した量は 113,822 トンとなり、売上高の増加に伴い前期と比較して 14.7%増加しました。



ミネベアミツミグループの水使用量

2022 年 3 月期の当社グループにおける水使用量は 9,684,280 m³となり、売上高の増加に伴い、前期と比較して 10.7%増加となりました。

タイや中国の量産工場において、工場内で発生した排水を可能な限りリサイクルし、工場外に排出しない「工場排水ゼロシステム」を運用しています。



PRTR 物質の管理（日本）

日本国内の各事業所は PRTR 法（化学物質排出把握管理促進法）に基づき、PRTR 対象物質の取扱い量、移動量を管理しています。

■ 2022 年 3 月期の報告実績

(単位 : ton)

政令 番号	CAS No.	物質名	取扱い量	排出量			移動量		消費量	除去 処理量
				大気	水域	埋立て	廃棄物	下水道		
20	141-43-5	2-アミノエタノール	5.07	0	0	0	5.07	0	0	0
53	100-41-4	エチルベンゼン	1.80	1.80	0	0	0	0	0	0
71	7705-08-0	塩化第二鉄	49.06	0	0	0	0	0	49.06	0
80	1330-20-7	キシレン	7.02	6.04	0	0	0.98	0	0	0
213	127-19-5	N,N-ジメチルア セトアミド	1.26	0.05	0	0	1.21	0	0	0
300	108-88-3	トルエン	9.80	9.80	0	0	0	0	0	0
349	108-95-2	フェノール	1.29	0.05	0	0	1.24	0	0	0
374	-	フッ化水素及び その水溶性塩	34.86	0.21	0.19	0	2.57	1.07	0	30.82
384	106-94-5	1-ブロモプロパン	3.52	2.53	0	0	0.99	0	0	0
438	1321-94-4	メチルナフタレン	3.22	0.06	0	0	1.25	0	0	1.91
合計			113.68	20.73			14.38		49.06	29.51